



2022.11.22

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

お天気に恵まれて

先月のことですが、遠足が無事に終わりました。当日はお天気に恵まれて、子どもたちも思う存分、森林公園の中で走り回って、秋晴れの1日を満喫することができました。遠足日和ですので、もちろん他の園も一緒になり、お互いに遊具もトイレも譲り合って、ということで、少し時間がかかってしまったところは否めません。集団でのルールを体験することで、大勢の時はどうするかを学習する機会にもなります。

でも、遊具は使えなくても芝生の上をゴロゴロ転がったり、葉っぱを拾ったりと遊べる要素はいくらでもあり、自然の中で子どもたちは飛び回っていました。私も子どもたちのまねをして、ゴロゴロ転がるのを試してみましたが、目が回って起き上がれませんでした。やはり年を考えなければと反省です。

お昼になると、お子さんたちはお母さんの手作り弁当を大喜びで広げて、楽しそうに食べていました。お日様の下で、みんなで食べるお弁当の味はとびきりのおいしさです。「あれも入ってる。これも入ってる。」とみんなで見せ合っていました。楽しい遠足になりました。



力作ぞろいの作品展

19日に開催しました作品展には、ご家族の皆様でお出かけくださりましてありがとうございました。こちらもお天気に恵まれ、芸術の秋を楽しんでいただけたことと思います。毎年のことですが、廃品収集にはご協力をいただきありがとうございました。その集まった廃品を上手に利用して、コツコツと作業に取り掛かり、様々な作品に仕上げていきました。

2・3歳児はクリスマスの飾り、年少組はお店屋さんの品物、年中組は自分たちの乗りたい物、年長組は将来の仕事をイメージして作りました。全く同じものがなく、それぞれの個性があふれた作品だったと思います。この『一人ひとりの個性を前面に出す』呼びかけに担任は苦労します。私も？十年前の新任だった頃、作品展で苦労しました。

年長組の担任だった時、子どもたちに必死で声かけをしたのですが、その意図を組んで作品を仕上げることができたのは、3分の1くらい。私の説明の下手くそに自分がいやになりました。何よりの反省は、自分の思いだけを通そうとして、子どもたちが楽しく製作活動をしていたかどうか。見せる事だけに目標を置いていた自分だったのです。その反省を込めて、今は園長として、『とにかく子どもたちが楽しく作る事・描く事に目覚めてほしい。完璧な色や形ではなく、毎日楽しく作品作りができること』に目標を置いて、各クラス担任に思いを伝えているのです。

子どもたちの作品は作る喜びがあふれていたのでしょうか。各クラスで、ご家族の皆さんに説明している子どもたちの会話を聞いていると、きっと楽しく作品作りができたのだろうな、と想像しました。

一人ひとりが持つ才能を伸ばしてあげたい、この作品作りが心地よい経験となつてほしい、そんな思いの作品展になることを願っています。ご参加に心より感謝いたします。



0120-189-783

「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）」は2000年11月に施行されました。1990年度には1,101件であった相談件数が、96年度には4,102件、99年度には11,631件となり、「子ども虐待に対応するための法律が必要」という声が高まってできました。児童相談所虐待対応ダイヤルが、

『189』です。今は、「ママやパパも一人で悩まないで、子育ての悩みや家族のこと、ご相談ください。」として、『0120-189-783』もあります。私も子育てでイライラしたことがありますし、多くの方々が経験されていると思います。大変な時は、一人で悩みこまないでこの番号を思い出してくださいね。